

★オリパラ教育★

川上 りり子

今年度から本格的にオリパラ教育が全都において行われることとなりました。本校も年間指導計画をつくり、他の教科と関連付けながら行っています。

オリパラ教育では「重点的に育成すべき5つの資質」として以下の5つを挙げています。

- ① ボランティアマインド
- ② 障害者理解
- ③ スポーツ志向
- ④ 日本人としての自覚と誇り
- ⑤ 豊かな国際感覚

これらの5つの資質を高めるために本年度、本校で取り組んだことを紹介します。

① ボランティアマインド

4年生が総合的な学習の時間に高齢者施設「ひまわりホーム」に出向き、高齢者の方と交流しました。



② 障害者理解

4・5年生がブラインドサッカーを体験し、視覚障害者と健常者が一緒に行うスポーツの難しさ、楽しさを学びました。また、4年生が視覚障害者と盲導犬に対する理解を深めました。



③ スポーツ志向

5年生がシュートボクシングの選手と交流してスポーツは自分を高めてくれる素晴らしいものであること、夢を与えてくれるものであることを学びました。

④ 日本人としての自覚と誇り

5年生が江戸時代から続く手品「和妻」を体験し、日本のマジックの素晴らしさを学び日本人としての誇りを感じることができました。

⑤ 豊かな国際感覚

1年生～6年生までが国際理解教育を通して外国に目を向け他国を理解することの大切さを学びました。また、もみじ読書週間で「世界にはばたけ！～読書を通して世界を知ろう～」というテーマを設定し、本を通して国際感覚を身に付けられるようにしました。

2020年東京オリンピックに向けて来年度も各学年様々な活動をしていきます。

★幼小中の連携教育★

○幼小連携

落五小では、幼小連携の一環としておちごなかい子ども園の子供たちと1年生が、学期に一度交流をしています。1学期は、国語の学習で書いた動物クイズを発表しました。2学期は、ボールを使った運動遊びを一緒に行いました。1年生は、小学校の中では一番下の学年ですが、自分たちより年下の子供に対してお兄さん・お姉さんとしてかかわることで、とても良い体験になりました。また1年生だけでなく、6月には健康委員会が手洗いキャンペーンを3学期には図書委員会が読み聞かせをしに、こども園を訪れます。幼小連携を通して、子供たちの更なる成長を図っていきます。



○小中連携

落二中学校ブロック（落二中、落三小、落五小、落六小）では年間3回、小学校と中学校との連携の取り組みを行っています。それぞれの教員が中学校や小学校の授業を参観し、テーマを決めて協議したり、小学6年生が中学校の授業や部活体験をしたりしています。これらの連携を通して、子供たちが安心して学校生活を送れるように尽力しております。

★ふれあい月間の取り組み★

新宿区では、子供同士の友人関係や日頃からの教員の指導の在り方を見直す機会として6月、11月、2月を「ふれあい月間」と位置付け、人権教育や心の教育等を推進するとともに、いじめ、不登校、暴力行為等の問題行動及び教員の指導の状況について、現状や取り組みの効果等を把握するための調査を行っています。

具体的には、各学級で「自分のこと」「友達のこと」「先生のこと」について、アンケート調査を実施しています。その中から気になること等があった時は、聞き取り調査も行い、早急に対処できるようにしています。

今後も、児童及び保護者の皆さまからご相談いただいた内容については、学校として責任をもって確認し、速やかに対処してまいります。保護者の皆様には、学校の取り組みにご理解いただきますようお願いいたします。

落五スクールライフ12月

●かがやき読み聞かせ交流会●



読書週間の取り組みとしてかがやき班のグループで、高学年が下学年に本の読み聞かせを行いました。下学年の児童は話に耳を傾けしっかりと聞いていました。

●バイキング給食●



お楽しみ給食の1つにバイキング給食があります。昨年度はクラスごと2学年ずつのペアでしたが今回はかがやき班で仲良く食べました。

●地域清掃(1・6年)●



学期に一度、取り組んでいる地域清掃ですが、今回は1・6年生で行いました。落合公園・山手通り方面に行き、協力しながら清掃しました。